2050年までの二酸化炭素排出実質ゼロを目指し



浜松市は、

浜松市域"RE100"

を実現します。

浜松市は「SDGs未来都市」です













一 地球の気温上昇を1.5℃以下に抑えるために ―

浜松市域"RE100"とは ※浜松市が独自定義

RE(renewable energy) 🤝 再生可能エネルギー

浜松市内の再エネ電源 ≧ 浜松市内の総電力使用量

※市内の総消費電力に相当する電気を、市内の再生可能エネルギーで生み出すことができる状態《RE100の考え方を参考に、浜松市で独自に定義したもの》

【参考】RE100とは☞

・<u>使用する電力の100%を再生可能エネルギーにより発電された電力にすること</u>に取り組んでいる企業が加盟している国際的な企業連合

浜松市域"RE100"へのチャレンジ目標

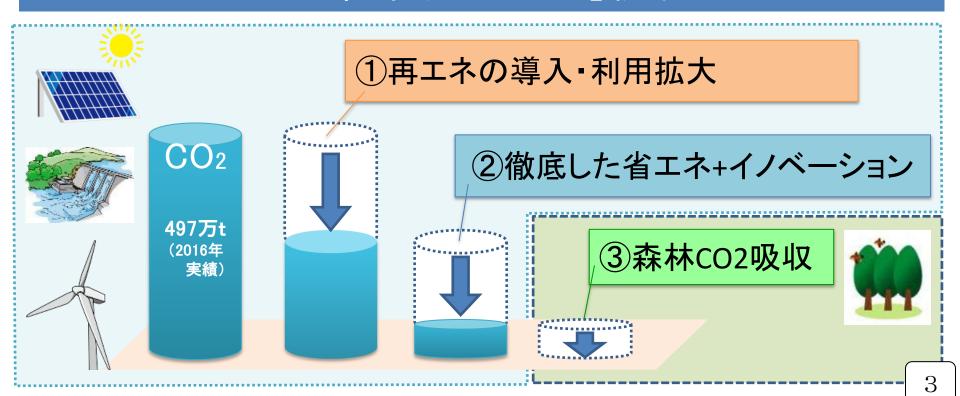
			2018年度(実績)	2030年度(目標)	2050年度(目標)
再生可能エネル ギー導入量(MWh)	大規模水力除く	Α	698,556	1,370,160	2,215,000
	大規模水力含む	В	3,028,797	3,700,401	4,545,241
市内の総電力使用量	(MWh)	С	4,996,340	4,700,000	4,500,000
再エネ電力自給率	大規模水力除く	A/C	14.0%	29.2%	49.2%
	大規模水力含む	B/C	60.6%	78.7%	101.0%

世界が気候危機に直面

- ◆「平均気温上昇の幅を2℃未満とする(目標は1.5℃未満)」(2015年 パリ協定合意)
- ◆「1.5°C未満に抑えるため、2050年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロにする必要」 (2018年 IPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書公表)

浜松市の対策

浜松市の強み「エネルギー」と「林業」を活かし、二酸化炭素排出実質ゼロを目指す! ______「浜松市域"RE100"」戦略



浜松市域"RE100"戦略の3本柱

浜松市域"RE100"戦略とは☞

- ・エネルキービジョンや温暖化対策実行計画など市の計画に基づき、地域の強みを活かし、再エネによるエネルキー(電力)自給率100%の達成により、2050年までの二酸化炭素排出実質ゼロを目指す。
- ・浜松市域"RE100"の実現に向け、<u>次の3本柱により、事業推進</u>。

①再生可能エネルギーの導入・利用拡大



- ・多様な再生可能エネルギーの導入
- ・再生可能エネルギー電源の地産地消

②徹底した省エネ+イノベーション

- ・ゼロカーボン 建築物(ZEH,ZEB)⇒まちづくり(スマートコミュニティ)
- ・水素社会の実現
- ・エネルギー:環境イノベーション

③森林の二酸化炭素吸収

- ・林業・木材産業の成長産業化 ⇒ 天竜材の利用拡大
- ・持続可能な森林経営
- ・森林資源の活用と保全

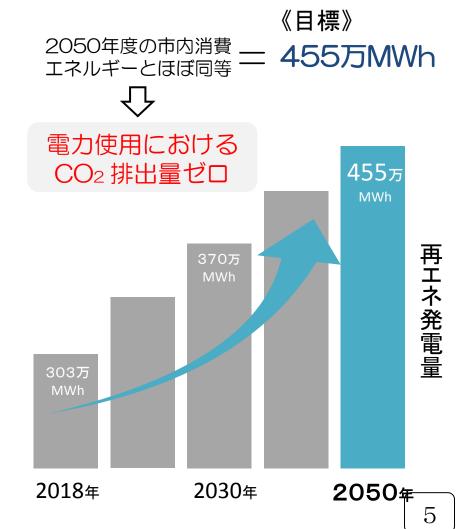


1. 再生可能エネルギーの導入・利用拡大

エネルギーをつくる



	2018 《実績》	2030 《目標》	2050 《目標》
太陽光	58 万мwh	72 万MWh	80 万мwh
風力	5万MWh	52 万мwh	120 万мwh
バイオマス	7 万MWh	12 万мwh	20 万MWh
小水力	_	1万MWh	2万MWh
大規模水力	233 万MWh	233 万мwh	233 万MWh
合計	303 万мwh	370 万мwh	455 万мwh



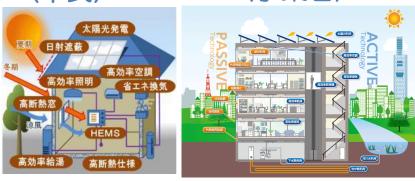
2.徹底した省エネ・イノベーション

エネルギーを賢くつかう

●ゼロカーボンの建築物

〈市民〉

〈事業者〉



ゼロエネ住宅

ゼロエネビル

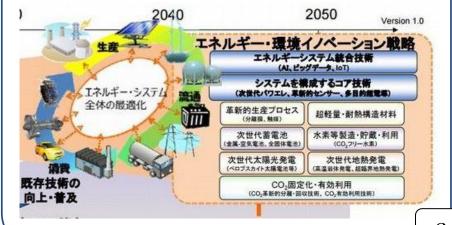
●水素社会の実現



、出典:環境省 低炭素水素サプライチェーンプラットフォーム HPより



●イノベーションによるCO₂抑制



出典:内閣府 エネルギー・環境イノベーション戦略 抜粋

6

3. 森林の二酸化炭素吸収

森林資源の活用と保全

林業・木材産業の成長産業化

雇用創出・拡大 生産性向上、技術開発イノベーション、 効率的サプライチェーン構築 販路拡大 緑のインフラ整備

天竜材の利用拡大

森林環境教育・木育の推進 新規ユーザー開拓 住宅・非住宅への積極利用 公共施設・学校の木質化

浜松市 = 国土縮図型都市 森林面積 ⇒ 市域の約66%



二酸化炭素吸収源の役割



持続可能な森林経営の推進

適切な森林管理・整備(FSC森林 認証)

木材生産の低コスト化

国有林面積:21,259ha

民有林面積: 81,215ha (平成30年度静岡県森林·林業統計要覧)

FSC森林認証面積: 48,542ha (令和2年1月1日現在)

市町村別では日本最大、取得者別でも全国2位(1位は山梨県)

浜松市域"RE100"ロードマップ(案)

中期 長期 2050 2020 2030 1.再エネ ●太陽光発電の適正管理、 ●市域RE100に向けての取組み 導入·利用 自家消費型モデルの拡大 ●多様な再エネの導入拡大、適正な 拡大 維持管理 ●多様な再エネの適正導入 ●分散型エネルギーの地域での活用 (風力、小水力、バイオマスなど) 地域活用電源など 再エネ電源の地産地消 ●再エネ電源のゼロカーボン、地産地消 地産再エネの利用拡大(民間、市民など) 地産再エネの利用拡大(市の率先導入など) 2.徹底した ●建物のエネルギーセキュリティ ●建物のエネルギーセキュリティ 省エネ・イノ 住宅・事務所等の省エネ化、スマート化 ゼロエネ化、徹底したエネルギーマネシブメント ベーション ●スマートコミュニティ ●スマートコミュニティ ●スマートコミュニティ の実装、拡大 の実証 のネットワーク化 ●定置型燃料電池(水素)の利用拡大 ●定置型燃料電池(水素)の普及 ●再エネの水素貯蔵の研究、実証 ●再エネの水素貯蔵の実現 ●エネルギー・環境イノベーション ●環境エネルギー技術革新 エネルギーシステムの全体最適化など 洋上風力、次世代自動車、革新デバイスなど 3.森林の ●森林資源の活用、森林保全 ●持続可能な森林保全 二酸化炭素 林業・木材産業の成長、天竜材の利用拡大 林業・木材産業の成長、基幹産業化 適正な森林管理(FSC森林認証の拡大) 天竜材ブランドの拡大、持続的循環 吸収

取組事業(令和2年度の主な事業)

- 1.再エネ導入・ 利用拡大
- ・事業者向け省エネ・蓄エネ設備導入補助《新規》
- ・協働センターへの太陽光発電及び蓄電池設置《新規》
- ・スマートハウス補助(太陽光発電、蓄電池、燃料電池、V2H)
- 2.徹底した省エネ +イノベーション
- マイクログリッド事業
- 市有施設照明LED化、省エネ改修
- 3.森林の二酸化 炭素吸収
- ・森林経営管理推進事業(手入れが遅れている森林の間伐等の推進)
- ・林業・木材産業成長産業化促進対策事業 (伐採後の森林における植林等の促進)